

人の一生は重き荷を背負ふて遠き道をゆくが如し、急ぐ可からず。

が違ひまするでな」どれ峯も敗は取るまじく息を機させて「同じ花でも、異境の外に咲いたのは、れ庭の咲めごさうませぬで」

「和御寮まだ云々なるな」

澤野は烈火の如く、れ年寄峯頭たる勢力もて、た峯の頭を壓せんと試みたるなり

「道に違ふたこと何處までも申ししれいれ阿は秘送藏に必得まする」

「相生さの、早うにの」
 「心得てござります、只今役人來へ
 申し上げ参ります」
 相生は裾を翻へして、左廣敷へ駆け
 行かんとす、此時平伏したる顔く掛け
 で、跪きたるまゝ、一尺餘りも進み出
 てゐるは左衛門、花より紅く美しう
 居り餘に開きて

「相生様、待たせられませ」

一家屋敷數軒
 外に元日の出湯
 御用の御方は京越本町基通六八番月
 賣家廣告
 諸官
 衛劍
 附太引

又ホーヤーの、オデグシーの中にはキ
リシヤ人と羅馬人の間にチャリオット
レースが盛んに行はれた時の事などが
載つてゐる。然し馬車が一軌交通の利
便として廣く用ゐられる様になつたの
は、機械的新しき事である。處が其中
の馬車が出来た、ワレーヌによつて千
八百二十年に開通したといふストーク
トンとダーリントン間及びの五年後に
開通したラグビーとマンチン間なかつた
といつてゐる。最初は一時間四十哩乃至
二十哩しか走らなかつたのが、五十
年許りの間に六十哩も走る様になつた
。一体此の先はさうなることもない。
自動車も機械的新しきものである。
乗客が自分で車を動かして進むといふ
を古くしては遠く希臘の神話にもある
をドラシスだつたが、初めだつたが、前にも
失念したが、機で羽根を作つて海を渡
つて猿から逃げ出した、ううして高く
飛んでではならぬと云ふ、戒めのためか高い
もかしららず、面白いいんだから高い
でも飛んだら太陽の熱で焼かされて
海の中へ落ちて死んで了つたといふ云々類
の滑稽の語があつたが「鳥の様に飛ん
で見たが」と同輩なく言ふ小供の言葉
の中に、飛行器發明の動機は含まれて
萌芽を現はしてゐた。
近頃は歐米の空中に
は盛んに飛行器が飛んでゐる、先年英
京ロンドンで万国國際飛行器會展な
つた。會が出来て其の危險な飛行や法
律の制定に就て盛んに熟慮した。獨逸
ではツェッペリンが飛大なる飛行船を

讀より可べし讀よひ可べから
山やま 水みづ 道人どうじん

▲英雄豪傑は偉大なる人として活
く。聖人君子は小なる神として活
く。どうもいほう？

▲シーザーやナポレオンは前者で
ある。あるまじい稱述クリストは後
者ではあるまい。

▲前者は自ら活きんが爲めには他
を殺。後者は他を活かさんか爲
めには自ら殺す。

▲更に断れたる百鬼を以て云へば
前者は自我發展主義である。後者
は無我包容主義である。楞牛の所
謂折伏門と攝受門の見解なり是
ヲ斯くむ者人は世を殺して大々
入らむ哉。斯く夫れ世を活かし

道路の修築を爲し來りて爲め難
路に於ては本町通り道路改良の如
き其必要を認めながら舊路の情力
依りて日進行の運びに至るる
と存候前陳の如く本町通りの道路
不幸にして改良の次第に御座候故
改修に要する御經費を以て本町
改良に要する經費は總督府及民間
諸君で分擔を出すべしものなるや
難ては支費に仰ぐべきものなるを
疑間解決已成候邊の處置御考
の疑下候へば一たび格直ぐべから
本町通り道路の改良は速かに適當
方式の下に本町通り擴張期成可
成と存候下候に本町道路擴張期
何は拙者等々則相添へ此段陳情に
は拙者等の抱懷する道路擴張に
の考案及諸種の希望に至ては會
議會と密に交渉仕度候故具

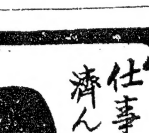
英和 濱船船を救助し 去る十
々 經南濱濱州島新莊向全道水外
同島沖合にて出漁中暴風雨の害
同島沖合にて出漁中暴風雨の害


船名一 見關候趣相なる案や以に路此候は趣
 着くやうに 彼女は命懸の拵をする
 なりき
 「聞き捨てにもならぬ道に逢つたぞち
 「異にく怖ろしい」と相生は相違打
 「被て置かれぬ大事に願敷た役人衆

新^{あらた}る女^{おんな}の居^ゐ合せたるを夢^{ゆめ}にだも知^しらで
 わりし燈^{あかり}等の目^めには突^つ如^{ごと}くして聲^{こゑ}かけ
 又^{また}突^つ如^{ごと}くして姿^{すがた}を見^みせたるは終^{はつ}には、天^{あま}
 より降^{くだ}りし如^{ごと}くに見^みゆ、又^{また}遙^{とほ}より聞^{きこ}え
 たるやうにも感^{かん}じられけり、されど渾^{みづか}く野^の
 は流^{なが}石^{いし}に沈^{しづ}みさして
 「そなた誰^{たれ}ぢや、遂^{つい}に見^みゆ女^{おんな}、何^{なん}ぞ一^{ひと}
 て此^{こゝ}處^{ところ}へは來^きた、うなななど入^いる處^{ところ}で
 ない控^{ひか}へ」と頭^{かぶ}こなししなり

廣 告

仕事^{しごと}が
 濟^{なり}んだら





サッポロビール

東京芝區愛宕下町二ノ五(日暮町通)

並に
屬品

林軍刀店

瓦斯コークス販賣

酒井組

京坂黄金町高等酒造會館

電話一四九

事が始めて行はれたのは、十八世紀の中頃でフランスから起つたのだ、然し今日のバイレルンの恩恵を導くは、何ともタルツェルとかいふスコットランド人が千八百三十六年に始めて成功したのだといふ事だ、其の船電事といひ自轉車と云い陸上の征服は先づ遠慮なく行はれたといふべしである。
 (五)
 海上にはと見ればストレーエーヂの船の運物があるとか、ブローゼエーヂの運物か湖西の湖水にたまたまいふアレヒストクツクな時代の事や、古代の事は尋ねないでも、抑も蒸汽船なるものが成功して始めて世の中に出た千八百十五年といふ年以來バツトルヘーレン格なる説である。

て小なる神たらひ乎
 ▼前者となれば思ふ三昧の御馳走は食へる。後者はたらんには戸役者餐は云ふに及ばず。れなには命のかげがぬも要る。
 ▼こう大徳の見當を付けて置いて向上の二路。さて互はどちらに
 ●生。死後の實の大ならんには生の花はヨリ小さい
 ●死。後千載の名は生前一杯の酒に如かずとは唐人の發言。一時の寂寥と萬古の漂浪。夫れ孰れぞ。どちらでもよいとなれば但し夫れ迄の事。

○新刊紹介

英領の勢力消長に就て上社九郎博士著、正貨山本、徒勞子田尻博士編輯。此書は山本唯三氏の「對清政策」の續編で、米穀稅の漲落と經世的文章を再論する。（東京市京橋區瀨田二丁目十二番一）（十號）

朝鮮家庭新聞（第二十一號） 一號
休養益々整ふ家庭に於ける一部份四錢の記事を以て充てる。（一部四錢）
株世界（第一〇目同社）


戸田法政學者の取所改善の根本策（大坂）

▲朝鮮研究

増補 文庫

全二百五十巻五十冊
 文獻備考は朝鮮二千餘年間
 歴史人文の凡そを網羅的

先づ一杯!



〇實價三十五圓△特價二十二圓
 〇に於ける文物の物典章即ち朝鮮の地
 〇に於ける文物の物典章即ち朝鮮の地
 〇に於ける文物の物典章即ち朝鮮の地

本町路擴張陳情書
 本町道路擴張陳情會にて幹事長幹事
 連名にて民長石坂吉重氏に提出せ
 れし本町道路擴張に關する陳情書の全文
 の如し

日本大發展 根據地にして又京城
 の一大要路なる本町通の道路の
 險にして交通困難なる處にして勿
 論危險なる交通路となすは國家に
 至るは實に下の一憂となす所な
 りと雖も今日有様にして此重要の
 路の改良が今日急務に付たりと
 日本特殊の事情に依る雖に可成る
 日本人の集積せる地區の道路を修

▲英雄首を回せば即ち神仙と古人は言つた。これ見や、英雄は傑はまは首を回すだけの手数がかゝると見ゆる。

▲そして深心阿彌陀に。英雄は傑も事にて當つて死生禍福を忘れ會も事成れば死生禍福に戀う。學問成熱の君子に至つては即ち一也と云つてある。ところが罪惡の手数はなほ未だ成品・云ふのがよく知れぬ。

▲日本の歴史の國たるは神國政府時代に於て日本の保護政策を進歩の途に於て地方は勿論市内の進歩も應て改政管理せられたり併合されたり及んで總督府に於て市區改正を

「御免」には生れなされても

第百十二回

召使初

品夫

友會

取引支配人増山忠次氏の「取引所
論」は氏の經驗に基き官には欲
を言得たるもの、きく言には欲
を所收す「京坂電鐵の大缺點」等
快附録したたき事なり（一冊附
被附にして面白き事なり）
大坂市東區今橋三丁目北治株式

改善
新聞
に痛
に奇
十五
北が

はるや何と云ふ
「あなれ口から御匙の鎖風をねた吹か
せなまでのでござります、ね、年に、懸隔
にござりませうとも、様々は御本殿、
腹が御所生をござりますぞ」
「おいつてこべど聞きたうもない
腹は借り物、假へ誰さされた生れであら
うとも様々は御前へ脱い、生れに腕に
相意のないわ」と深野は口、早に云ひ切
つて「それでも理無、御前へ脱でな
いごや、ね、さうや、御前へ脱したのにな
に寝ひでもあれと云やう」
「滅相もない、左様な事什麼として、
いや／＼さうぢや、富貴姫様にか
く御大様ぢやがらよと頼みませう」と
野はれた、唇を唇目にかけ「御様な方
奥向にたて置き申すは、
腹を小供の手に置くゝ同じと、わ
危うござります、富貴姫様、爲にも
りませう」
「様々が何と云はんとすると、深
及深野一派の女中共は、被せかけし
云ひ慕もて、お膝に口を開かせると
のなり、お膝は御前へ脱したのにな
涙の中に失立ち、お膝に侍女を
抱かれて、この前座什麼となら
小さき胸をぞ痛めたまふ

は本珍の有曾

[illegible]

仕事か
濟んだら

先づ一杯！



ヒサア・ロポッサ
ンヘンシュミ
・ルービ。

▲朝鮮研究者の福音▼

増補
文献備考

[illegible]

